



清里 まちづくり

No.47

企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町 339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

清里まちづくり活動

『清里地区文化祭で活動を披露』

10月28日(土)に清里公民館で開催された清里地区文化祭に今年もまちづくり協議会の各部会が日頃の活動を披露し皆さんに目や耳で感じ、舌で味わっていただきました。食育部会の新メンバーにとっては初めての文化祭でしたが、他の部会の応援をいただき、きよさと焼510枚を完売しました。多くの方々に味わっていただき、かけていただいた「おいしいね!」の一言がとっても励みになりました。



きよさと焼販売(食育部会)

花いっぱい運動部会では公民館の入口を季節の花で飾って文化祭を盛り上げました。前日にコリウスやガーデンシクラメンの花やヘンリーヅタで飾りつけ、ウエルカムボードなどを手際よくハロウィン風にアレンジして花はなクラブワールドを作り上げていきました。そのディスプレイは皆さんからの要望もあり、文化祭が終わった後もし

ばらく間、公民館の来館者を楽しませてくれました。



花のディスプレイ(花いっぱい運動部会)

舞台発表では子ども八木節部会の34名が日頃の練習の成果を皆さんの前で発表し喝采を浴びていました。子ども八木節部会では夏に八木節教室を開催したところ、16人が参加してくれました。受講者のうち5人の子どもたちが新たに部会に入り、文化祭でステージに立つことができました。



八木節披露(子ども八木節部会)

部会では子どもたちが伝統芸能である八木節が地域の活性化に役立つことを目標に活動しています。

だんべえ部会の今年の舞台発表は「だんべえ部会メドレー☆」。活動を始めて10年になるだんべえ部会ですが、レパートリーも多く、前橋まつりをはじめいろいろなイベントに出演し、パワフルでスタイリッシュな踊りは定評があります。文化祭ではこれから部会を背負っていく子どもたちとこの10年を支えてきた大人たちの20人が融合してエネルギーなダンスを披露してくれました。だんべえ部会の踊りは見ている人たちを本当に元気にしてくれます。一緒に踊ってみたい方は公民館にご連絡ください。

(事務局長 松下 博寿)



だんべえ部会メドレー☆

食育部会

『芳賀地区ふるさと祭に参加』

今年11月12日(日)に芳賀地区ふるさと祭に参加しました。多くの人で会場がごった返している中、「ぐんまちゃん」や自作の「ころとん」も出て場を盛り上げておりました。地域がひとつになつていると強く感じました。きよさと焼は、この日は風が強く、焼くのに大変苦労しましたが、中学生多数の協力もあり予定の三百食売できました。寒い中、長い行列ができ、芳賀の皆様にも味わってもらえたと思います。今回驚いたのは、毎回隣に出店しているりんご屋さん、清里出身の方で嶺町に嫁がれ、ご主人がりんご園をやっているの、ふるさと祭を楽しみに参加しているとのことでした。改めて、人との会話の大切さ又繋がりを感じました。スタッフの皆様ありがとうございました。

(食育部会長 新井 孝)



芳賀地区ふるさと祭できよさと焼販売

だんべえ部会

だんべえ部会の1年で一番盛り上がるイベント「前橋まつり」に今年も参加してきました。毎年参加する常連チームとなりました。立川町通りを50分間だんべえ踊りをしながら練り歩きます。今年は群馬テレビの取材を受けて、カットされるかと思いきや、しっかりと放送されました。50分間ほぼ休憩無し踊り続けるのは大人でもやっとなのですが、小学校低学年の子や保育園児も踊りきり、なんとなく踊っていた子供達も今や頼もしいメンバーです。前橋祭でも清里のアピールはバツチリ！これからも清里地区さらには前橋市も盛り上げて行きます！

(だんべえ部会長 植木直子)



清里地区を盛り上げて行きます！

子ども八木節部会

子どもたちが全員揃つての練習も難しい中、地区内行事にも参加、出演しておりますが、最近では施設(デイサービス)さんからの出演依頼が多くあり、

参加できる子どもだけで伺っております。最近では少人数でも上手にできるようになりました。これからもみんなで頑張つて八木節をやっていきます。(子ども八木節部会長 小池英子)



施設からの出演依頼

きよさと焼をクックパッド前橋版に掲載しました

前橋市の公式キッチンでは前橋市の新鮮な野菜や豚肉などの食材を使つたレシピを紹介しています。前橋市地域おこし協力隊の落合宏美さんのサポートもあり、きよさと焼をクックパッドに掲載することになりました。



毎日の料理を楽しむに

ホームページ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/maebashicity>

編集後記

みなさんは、「うるう秒」を知っていますか。うるう秒は、1月1日または、7月1日に不定期で1秒の補正が加えられます。直近では、2017年1月1日に1秒加算されています。ちなみに来年の1月1日の補正は無いそうです。昔は、地球の自転及び公転の天文時から時刻を算出していました。1958年より高精度な原子時計による時刻が開始されました。高精度となったため、原子時計による時刻と天文時とのずれが発生する様になりました。これを調整するために「うるう秒」の挿入が行われます。かつては、「うるう秒」がネットワーク機器などに障害を発生させたことも有った様です。

地球の自転の速度が変化する理由として一番大きいのが、月の引力による満ち潮、引き潮です。海面が上昇することにより自転にブレーキがかかります。これは、フィギュアスケートのスピンドで選手が腕を伸ばしている状態から縮めると回転速度が急に早くなります。この逆の原理で自転が遅くなります。また、温暖化で北極や南極の水が溶けると海面が上昇することでも同じ様なことが起こるそうです。地球環境がこんなところにも影響を及ぼしているのですね。(SA)

